

平成 21 年 9 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社ホッコク
代表者名 代表取締役 吉田 泰昌
[JASDAQ コード 2906]
問合せ先 取締役管理本部長 曾根 敏信
TEL 03-5695-2005

株式会社アプレシオの再生支援に係るスポンサー辞退に関するお知らせ

当社は、平成21年7月22日に発表いたしました「株式会社アプレシオの再生支援に係るスポンサー契約締結に関するお知らせ」について、株式会社アプレシオの事業の早期再建の実現に向けた努力をしてまいりました。具体的には、同社の経営陣や従業員との度重なる打ち合わせや、部門別の改善プロジェクト立ち上げ等を積極的に進めてまいりました。また、フランチャイズオーナー会の開催も行い、個別にもフランチャイズオーナーの皆様の意見を聴取し、問題点の早期解決を図るように努めてまいりました。

しかしながら、下記のような重大な問題が顕在化したため、スポンサーとしての支援の継続が困難と判断し、本日付で株式会社アプレシオと本件に係る合意解約書を締結し、スポンサーを辞退することになりましたのでお知らせいたします。

記

1. スポンサー辞退に至った経緯

(1) フランチャイズオーナーからのロイヤリティ低減の要請

フランチャイズオーナーから、フランチャイズ本部として望まれる役割を果たしていないという不満や、現行のロイヤリティを低減するよう求める意見があり、かかる要求が受け入れられない場合には、フランチャイズ契約の解約も辞さないという意見が少なからず存在することを認識いたしました。

当社としては、長年培ったフランチャイズ本部としてのノウハウ及び当社営業所のネットワークの活用により、フランチャイズオーナーの要望に対応することを計画しておりました。しかし、主たる収益源であるロイヤリティが低減された場合、株式会社アプレシオの事業の再建を推進することは困難であると判断いたしました。

(2) 株式会社アプレシオの経営陣と当社との信頼関係の未確立

当社は、株式会社アプレシオの安定収益基盤の確立を目指し、事業の強化を推進する再生スキームの具体的な内容について、同社経営陣と積極的に協議を重ねてまいりました。

しかしながら、かかる協議を通じて、同社経営陣から再生に向けての虚偽の報告や的

確な情報の開示がなされなかったことが多々あり、そのような理由から信頼関係を本日まで築くことはできませんでした。また、当社としては、近い将来にこうした信頼関係を築くことも困難であると判断いたしました。

2. DIPファイナンスについて

当社は、平成21年7月1日、株式会社アプレシオに対して、支援の一環としてDIPファイナンスを実行しておりましたが、今回のスポンサー辞退に伴い、本日、融資金の返済を受けております。

(DIPファイナンスの内容)

- ① 金額 金 7,000 万円
- ② 最終弁済日 ㈱アプレシオの民事再生手続における再生計画認可の決定の確定日より後の日であって、両社が別途合意した日
- ③ 利息 年 1.80%

以上